

ボランティアだより

ほのボラ

2022年10月発行 No. 109

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL: 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX: 0771-82-2206

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



祝 京都府社会福祉協議会会長表彰受賞!

京丹波スリーA



認知症予防に効果的なゲームを通して、楽しく脳の活性化を図ります。スリーAとは、「あかるく、あたまをつかって、あきらめない」というモットーの頭文字「A」をとって名付けられています。

地域サロンや行事、スリーA教室などで活動されています。



代表の奥村 益子さんは、「この度、スリーAが賞をいただきありがとうございました。コロナで人が集まるのが難しく、できないゲームもありますが、やり方を工夫しながら活動しています。人と会って楽しくおしゃべりしたり、ゲームをしたりすることで認知症予防になります。他府県で実施されている町では、かなり効果が出ているという報告もあり、私たちもそれを励みに続けていきたいと思っています」と受賞の喜びを話されていました。

スリーA(エー)教室

11月10日(木)・24日(木)

場所 京丹波町役場庁舎内

時間 10時~11時30分

利用料 1回100円

(内容によっては別途実費負担あり)



どなたでも参加可能ですので、お友達を誘って、一緒に頭や身体の体操にきませんか?

大迫サロン「和知富士会」

大迫公民館で、和知富士会さんによるおはぎ作りが行われました。出来上がったおはぎは同地域の方々へと配られました。

小豆と栗の二種類のおはぎは手作りで、特に栗のおはぎは地域の方々から頂いた栗を使って作られたものです。地域の方々「いつもありがとうございます」「また栗が取れたからもらってや」など話しながらおはぎを受け取っておられました。

活動者の方は「年に2回春と秋に配っています。以前は高齢者の方だけ配っていましたが、小さな区なので全世帯に配るようになりました。皆さん楽しみにしていただいて、私達も見守りや安否確認も兼ねて配っています。皆さんと会話をするのも楽しみにしています」と話されていました。



第3期 フードバンク「わっか便」

生活に困りごとがある方を対象に、無料で食料品をお渡しする取り組みです。



←みなさんから、多くのお米のご提供がありました。「お米がたくさん出来たので、寄付しました」「家では食べきれないし、少しでもお力になればいいな」と住民の皆さまからの思いのこもったご寄付、ありがとうございます。



←お米以外にも缶詰やレトルト、インスタント類もご寄付をいただいております。「すぐに食べれるおかずがあると大変助かります。」「おかずがあるとお米が美味しく感じれるので、嬉しいです」とお声をいただいております。一つ二つといった少量からでも受け付けております。皆様のご協力よろしく申し上げます。

**おかげさまでお米はたくさんお届けいただきました。
缶詰やレトルト食品は引き続き募集しています。**

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（榎川・山崎・上田）
丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833